

株式会社 TJM デザイン

クラウド FAX オプションで、FAX サーバーもクラウドに短期間で統合。送信時間の大幅短縮と運用負荷軽減を実現。

基幹システムの刷新とともに、いち早く FAX サーバーによる帳票送信を実現した株式会社 TJM デザイン。しかしその製品は運用負荷が大きいことから、『ライトニング FAX』にリプレイスした。その後、基幹システムのクラウド化に伴い、FAX サーバーもクラウド化を検討したが、既存システム改修工数が大きく、あきらめざるを得なかった。この手詰まり感を打破したのが、ライトニング FAX の『クラウド FAX オプション』。既存のシステムの大幅な改修無しに、スムーズにクラウド型 FAX サービス『OpenText Fax2Mail』との連携を実現。運用負荷軽減に加え、大幅な送信時間の短縮、そしてクラウドでの管理による BCP 対策の強化も実現した。

お客様が実現できたこと

- ✓ FAX 送信時間の大幅短縮と、送信キャパシティの増強を実現。
- ✓ FAX サーバーも AWS で一元管理。機能面も充実して、運用負荷を軽減。
- ✓ 災害時などに対する BCP 対策の観点からも、より安心な FAX 送信が可能になった。

▶ お客様プロフィール TJMDSIGN

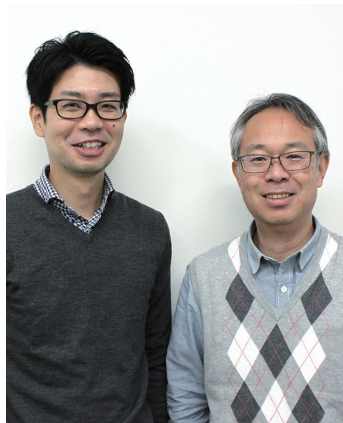
社 名：株式会社 TJM デザイン
U R L：www.tjmdesign.com

本 社：東京都板橋区小豆沢 3-4-3

設 立：1945年3月6日
従業員数：811名（2018年3月現在）
事業内容：○建築工具、工場用工具等の開発、製造、販売
○カスタムキッチン等、住宅設備や家具等の開発、製造、販売

1909年精密測定工具メーカーとして創業したTJMデザイン株式会社は、総合建築工具メーカーとして世界的に事業を展開。コンベックスやハーネスなど高いシェアを誇る製品を通じて、そのブランドTAJIMAは国内外に浸透しています。また、住設関連事業にも力を入れ、キッチンからダイニング、リビングまで、トータルに提案しています。





(右) 経営サポート本部総務グループ
ITインフラエンジニア 佐藤 丈夫 様
(左) IT戦略本部 システム開発グループ
マネージャー 馬場 彰 様

「FAX サーバーのクラウド化には最善策」

「Fax2Mail以外のインターネットFAXサービスを使っていれば、ライトニングFAXも置き換えることになり、コストや操作性の問題が発生します。

クラウドFAXオプションの活用で、通信に関わる部分だけを変更し、クラウド型FAXサービスと連携できたので、基本的には今までの操作や管理は変わりません。今回のやり方は一番の正解でした」

— 担当営業紹介 —



キャノングループ事業部営業本部
武井 大輔

「ライトニングFAXは、回線部分がオンプレミスとクラウド両方を利用できるハイブリッド型FAXサーバーです。用途に合わせ組み合わせてもご利用になれます」



お客様のご要望

- ▶ 大量一斉FAX送信における順番待ちを解消し、送信時間そのものも短縮したい。
- ▶ 基幹システムのクラウド化に併せて、FAXサーバーもクラウド上で一元管理したい。
- ▶ 本社のFAX専用回線だけに頼るのは、BCP上好ましくないなので改善したい。



導入前の課題と背景

FAXサーバーを導入するも、運用に課題

FAXサーバーはかなり以前からお使いと聞きました

「当社は2000年に基幹システムを刷新しました。これに伴い仕入先への発注書、受領書、支払い通知書なども、基幹システムで生成し専用のFAXサーバーで送信するようになりました。しかし、このFAXサーバー製品は送信状況が非常に読み辛く、送信失敗したデータを見つけるのは容易ではありませんでした。未送信データの発見漏れの心配があるだけでなく、再送信作業も手間がかかり、送信失敗を知らせる通知機能もないので、毎朝、前夜の送信結果を確認するためにサーバーにログインしてログを確認するのがルーティンになっており、運用負荷が高かったのです。

その後2012年にこのFAXサーバーの販売が終了することになり、これを機会に、より高機能なFAX送信システムへのリプレースを検討していたところ、基幹システムの構築に関わっていたシャープマーケティングジャパンからライトニングFAXを紹介してもらったのです」



導入の必然性

ライトニングFAXをオンプレミスで導入

ライトニングFAXはそれまでのFAXサーバーと違いましたか

「ライトニングFAXは、FAX送信状況や履歴が見やすく、ログをすべてチェックしなくとも送信エラーが特定できる上、再送信の処理も容易であることがわかりました。しかも導入支援や設定作業にかかる費用が安価な上、運用操作の面でも優れていたことから、2011年にライトニングFAXをオンプレミスのスタイルで導入したのです。

これにより、管理者はクライアントPCからステータス確認ができるようになったため、複数の管理者による運用も可能となり、送信エラーの見落としもなくなりました」

工夫 運用の工夫 FAXサーバーをクラウドに統合

なぜライトニング FAX に Fax2Mail を連携させたのですか
「ライトニング FAX 導入の数年後、バージョンアップを機会に、基幹システムを AWS (AmazonWeb Services) に移行してクラウド化を実施しました。

しかし、基幹システムは AWS にうまく移行できたものの、オンプレミスで構築した FAX サーバーだけは FAX ボードを挿さないといけないなどの物理的な問題から、AWS に移行できなかったのです。

基幹システムが出力する帳票類を VPN で FAX サーバーに送り、そこから公衆回線で送信することで急場をしのいだのですが、これでは VPN 障害時に送信不能になるなど、BCP 上も好ましくありません。さらに深刻だったのが送信時間の問題でした。FAX 専用には 2 回線ありましたが、頻繁に空き待ちの状態が発生し、場合によっては送信完了まで 1 時間以上待たされることもありました」

インターネットの FAX サービスを検討されたのですね

「公衆回線を使わず、インターネットの FAX サービスを使うのが良いとは判っていましたが、導入には既存のシステムの改修に結構な費用がかかってしまうため、二の足を踏んでいたところに、再びシャープマーケティングジャパンからライトニング FAX の新オプション『クラウド FAX オプション』の提案がありました。これでインターネット FAX サービス『OpenText Fax2mail』と連携できると言うのです。Fax2mail は以前から知っていましたが、システム連携をする場合は、Web API の機能を使ってユーザー側でインターフェースを構築する必要があり、導入にかなりのコストがかかることが想定され、実現は難しいと考えていました。これがクラウド FAX オプションを使うことで、容易に連携できるようになったのです。既存のシステムを改修する必要もなく、オンプレミス型 FAX サーバーの FAX 送信機能も AWS に統合することができると考え、導入を決定しました」



経営サポート本部総務グループ
ITインフラエンジニア
佐藤 丈夫 様

成果 取り組みの成果 送信時間や運用負荷が大きく改善

導入はスムーズでしたか

「大きな問題もなく、極めてスムーズに完了しました。当社はテストサンプルの準備をして、テストに立ち会うだけで、あとは、シャープマーケティングジャパン、キヤノン IT ソリューションズを含めた 4 社複合チームが導入作業を行いました。

実は開発チームは新オプションリリースに先駆けて、2ヶ月ほどかけてフィージビリティを確認しています。そのおかげで、正式契約の翌月には AWS からインターネットで FAX 送信が可能になりました。全帳票が AWS からの配信に切り替わると、ただちに既存の FAX 専用回線は解約、撤去しました。

ユーザーからすれば、送信手順は従来とまったく変わりませんので、ユーザー向けにレクチャーなどをする必要もありませんでした」

導入効果はいかがでしょうか

「FAX 送信の際、以前はアナログ 2 回線で順番に FAX 送信していたので、大量送信時などに回線の順番待ちが発生しました。たとえば月 1 回の支払通知書は一斉に取引先へ流すので、回線の順番待ちが発生し、飛込みで急ぎ FAX したくとも即応できませんでした。そのため支払通知書は時間外に送信してもらおうよう頼む有様だったのです。

導入後は、クラウド FAX サービスを利用することで、物理的な回線の制約を意識することがなくなり、時間も気にせずに送れるようになりました。同時送信が可能になったことにより、送信時間は大幅に短縮され、たとえば全ての支払通知書を送る時間は、1 時間半から十数分に短縮されました。専用回線の制限が無いことから、今後さらに送信数が増えてもそれに対応可能です。

また、最新のライトニング FAX には、送信失敗時などのメール通知機能のオプションも加わりましたから、定期的に送信状況のチェックをする必要はなくなり、アラートメール着信時にだけ送信状況を確認すればよく、運用負荷も大幅に軽減されています。AWS に一元管理することで BCP 対策にも貢献することができました」

将来 将来の展望 他業務への展開に期待

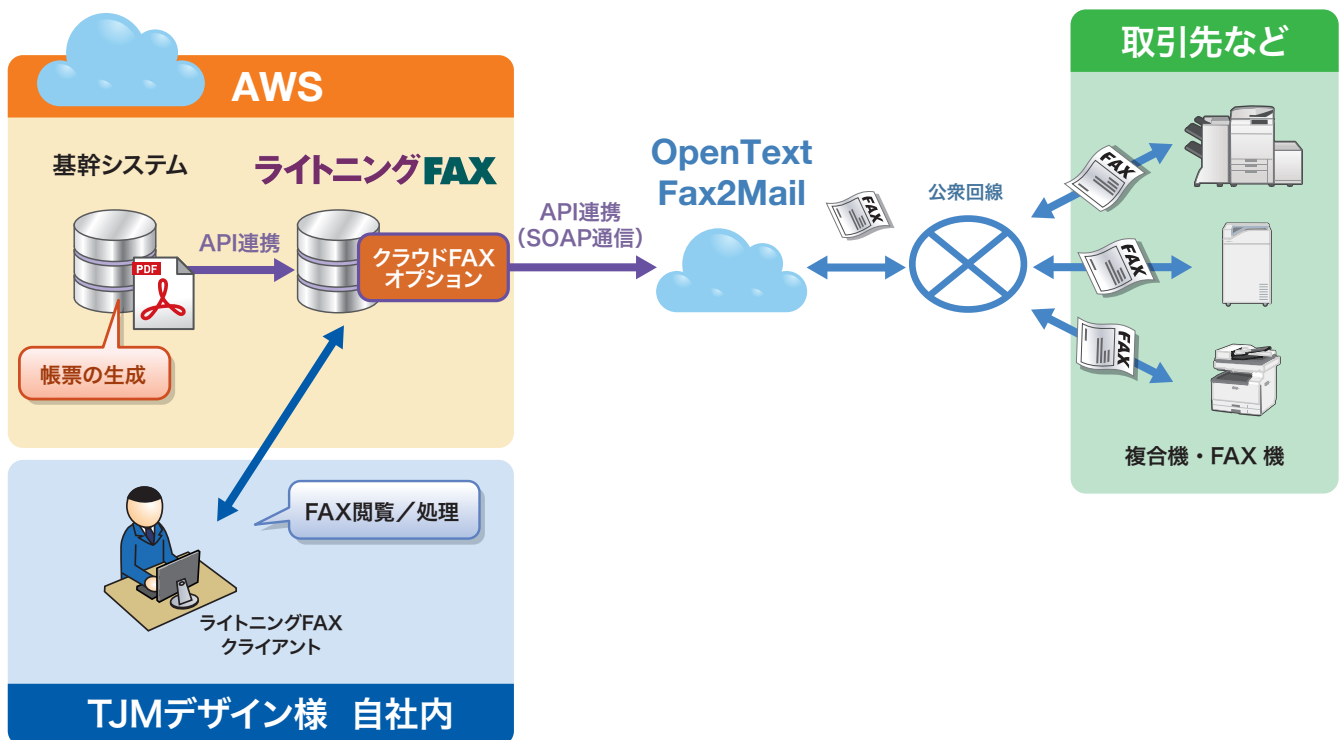
今後の展望についてお聞かせください。

「現在は、仕入れ先への発注書や支払い関連帳票などの送信に使っていますが、たとえば当社のレーザー製品の修理業務などでも FAX の利用頻度が高いことから、こ

うした業務についても、ライトニング FAX + Fax2Mail の組み合わせを活用することを検討中です。

ライトニング FAX を活用する中で、実現してもらいたい機能などいろいろ見えて来たので、キヤノン IT ソリューションズには引き続き、良いサポートを期待したいです」

システム全体像



FAXサーバー「ライトニングFAX」+クラウドFAXオプション

ライトニング FAX は、FAX を社内ネットワークシステムに統合し、業務システムと融合した FAX ソリューションを提供する、FAX サーバーシステムです。これにクラウド FAX オプションを加えることで、容易にクラウド型 FAX サービス「OpenText Fax2Mail」との連携が実現し、API 機能により業務システム・DB などと連携した、クラウド型 FAX 回線対応の FAX システムを構築することができます。



ライトニング FAX ホームページ

www.canon-its.co.jp/products/lightning_fax/

キヤノンITソリューションズ株式会社
東京 〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11
大阪 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-2-4

TEL(03)6701-3458
TEL(06)7635-3127

● Amazon Web Services およびその他の AWS 商標は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

Canon キヤノン IT ソリューションズ株式会社

〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11 野村不動産天王洲ビル

Copyright 1999-2019 Canon IT Solutions Inc. All rights reserved.